

質 疑 回 答 書 (設 計 業 務)

施設部整備課

業務名称 京都大学(熊取)総合研究棟(原子力科学系)新営その他(建築)設計業務

標記設計業務の仕様書等について下記のとおり回答いたします。

No.	図面番号	質疑事項	回答
1	—	改修建物及び増築建物周辺のレベルがわかる資料をご提示ください。	「GL測量報告書(熊取団地)」を提示します。
2	—	改修建物及び増築建物周辺の地盤状況がわかる調査資料(土質柱状図)がありましたら、ご提示ください。	増築建物周辺で過去に調査した「土質柱状図」を提示します。
3	—	今回の新営建物と1階の渡り廊下(床面積発生)にて接続される、改修建物との法令上の考え方(建築基準法・消防法上の同一棟扱い等)、同法の遡及適用の範囲・内容について、ご提示ください。	建築基準法上は別棟(既存棟への遡及が及ばない隣棟間隔確保)、消防法上は同一棟扱いとします。
4	—	改修建物の改修範囲は、内装だけでなく、外装(防水・外壁・外部建具その他)も全て設計業務範囲の予定でしょうか。	屋上防水は改修範囲外とします。外壁・外部建具は1階の一部及び3階のみ改修対象とします。
5	—	改修建物のアスベスト調査(外壁、床、壁、天井等)は終了していますでしょうか。もし、終了していれば、その結果をご提示いただけませんか。	アスベスト調査は未完です。
6	—	設計業務委託特記仕様書(団地)配置図で、新営建物と改修建物の間にある「(083)仮設ハウス研究室(1)49㎡」、「(086)仮設研究室(2)73㎡」、「(108)仮設ハウス教授室24㎡」を解体することとなっていますが、これらの建物の解体時期は、どの時点になりますでしょうか。	左記3棟の解体時期は、新営建物着手前とします。なお、事業の全体スケジュールは、とりこわし(3棟)→新営→移転→研究棟改修の順となります。
7	—	設計業務委託特記仕様書 配置図について、共同溝の長さが記載されており、新営9m、改修7mとありますが、新営部分の長さは図面上の長さと同じと考えてよろしいでしょうか。	既存共同溝との接続位置は図示の通りとし、図面に表記している数量は参考数量とします。
8	—	新営建物、改修建物で放射線管理区域となる部分がありますでしょうか。	放射線管理区域となる部分はありません。
9	特記仕様書 I.4.(4)設計と条件について	既存建物の改修は使いながらではなく、新営完成後に全体を空にして工事すると考えて宜しいでしょうか?	よろしい。
			「GL測量報告書(熊取団地)」と「土質柱状図」を本日(令和3年3月11日)中に技術提案書提出要請者に対し電子メールにて配布する。
		以下、余白	